

代表者会議

1. 集合場所・開始時刻

- 1) 2026年5月16日(土): 17時30分～
- 2) 大島公民館 ※今回は集合による対面実施のみとする。

2. 実行委員長・チーフレフリー挨拶

3. 大会運営・競技・会場における確認事項

【競技関係】

- 1) 本競技会は JLA 競技規則 **2025 年版 (2025.09.01 版)** 及び競技会参加規程に則って実施する。
- 2) **IRB の器材検査について**
全チームを対象に、IRB の器材検査を競技前に実施する。器材検査項目は、別紙「(共通)2026IRB_IRB 検査チェックシート.pdf」を参照のこと。なお、IRB の船外機のうち「キャブレター」を開けた状態で実施する。また、競技中に明らかな異常を確認した場合は、競技後に更に検査を実施する場合がある。テクニカルオフィシャルまたは大会運営スタッフから器材検査の実施指示があった場合は、その指示に従うこと。
- 3) 抗議および上訴を行う場合、事案に関係する当事者(選手本人) + チーム代表者1名のみの対応とする。
- 4) チーム種目のリレーオーダーは、指定の電子フォームより提出すること。「各レースのマーシャル完了までに」送信を完了する(予選レースは予選のマーシャル前までに、決勝レースは決勝のマーシャル前までに)。
- 5) **今大会では、各種目のレース直前の招集は実施しない。そのため、各競技開始予定時刻の3分前までに、各競技種目に割り当てられた各レーンに各チームの人員と器材を揃えて(整えて)おくこと。**
- 6) 当日、出場する種目の棄権が決まった場合、マーシャル時に申告をすること。
- 7) 競技に出場する競技者以外は、競技エリアには入らないこと。
- 8) 実施されている競技、または次の競技に出場する選手以外の競技器材は、競技エリアに持ち込まないこと。
- 9) 競技器材は、決められた器材置場に置くこと。但し、自然条件によってはチーフレフリーまたはセクショナルレフリーの判断で器材置場が変更となることがある。その際は、チーフレフリーまたはセクショナルレフリーの指示に従うこと。
- 10) ハンドラーは「競技規則」に従って、ハンドラーを選出しチームキャップ(またはヘルメット)を必ず被ること。
- 11) 大会当日の条件によって、競技規則規定によるブイ設置の方法のコースを変更することがある。
- 12) **【制限時間について】**チーフレフリーまたはセクショナルレフリーは、次のラウンドに進む競技者が確定した時、または競技者の技能不足により安全上競技を継続させることが危険と判断した場合、競技者に競技の中止を指示できるものとする。
- 13) 選手のウォーミングアップおよびダウンは、決められた場所で行うこと。

【大会運営、会場関係】

- 14) **予選・決勝の実施方法、順位の決め方および総合順位加点について**
 - **参加チーム数の増加に伴い、決勝レースは【A 決勝 (A ファイナル)】のみ実施する。**
 - 各種目の予選(原則2ヒート)を実施した後、各ヒートの上位3位までのチームが決勝に進出できる。
 - ◇ オープン参加のチームが予選各ヒート上位3位までに入った場合は、当該オープン参加チームは決勝に進出することができる(ただし、どんな順位であっても最終の順位・得点の付与の対象外とする)。また、当該オープン参加チームの次点の順位のチームも決勝に進出することができる。この場合、決勝レースは「7チーム」での実施となる。
 - ◇ **【IRB マスレスキュー女子】に限り、予選1ヒートでの実施となるため、失格がなければ全チームが決勝へ進出をすることができる。ただし、オープン参加のチームはどんな順位であっても最終の順位・得点の付与の対象外とする。**
 - 決勝での組み合わせ・レーンは、決勝前のマーシャルにて各チームによる「くじ引き」で決定をする。
 - 各種目の最終の競技結果は、決勝の競技結果を原則として採用する。
 - 総合得点の加点対象は、決勝の競技結果で決着した順位のみ加点対象とする。よって、7,8位など下位の

順位を付けない場合がある。

- 各決勝において DNS（棄権）の場合、もしくは重大な規律違反等が発覚した場合は、そのチームの当該種目（状況によっては全種目）の順位付与及び総合得点加点の“対象外”とする。
- 決勝で失格の場合は、原則として決勝内での最下位とみなす。メダル授与および総合得点の加点対象とする（ただし SDQ の場合を除く）。
- 複数チームが決勝で失格の場合、失格をした複数チームのみ“予選レースの順位”を採用する。
- 決勝で失格が無くかつ決勝で同着の場合は、同種目の予選結果を参考にする。例えば決勝において 1 位が A, B チーム（2 チーム）で同着の場合、同種目の A, B チームの予選結果が、A チームが 2 位、B チームが 3 位、であった場合は、A チームの予選結果が上位であるため、決勝結果は A チームが 1 位、B チームが 2 位、となる。
- その他の事象が発生した場合は、その時の状況に応じて大会実行委員会が判断をする。

15) 2 次要項に記載のあることを、全員が必ず守ること。

16) 開会式は競技日の前日に実施をする。

17) 選手宣誓及びオフィシャル宣誓は割愛する。

18) 種目別の表彰ならびに総合表彰に関しては、全競技終了後に実施する。時刻等はタイムテーブルを参照すること。各種目の上位 3 位までに入賞をした競技者は、表彰の時刻になったら表彰エリアまで集合すること。表彰対象者は、チームユニフォームとチームキャップを着用すること。またクラブ旗、カメラ、個人的なアクセサリを持ち込むことはできない。

19) タイムテーブルをよく確認すること。変更が生じる場合は、随時会場アナウンスする。

20) 撮影規制については、2 次要項の通りである。

21) ゴミは各自・各チームにて持ち帰り処理すること。

22) 出場するチーム名と異なるチーム名のユニフォーム、水着、キャップを着用しての出場はできない。競技役員による判定の支障となる。

23) マスクの着用は、各個人の判断に基づくものとする。また、着用する・しないについて、互いに強要することのないように。

24) 競技結果は、大会本部テント内にて貼り出し掲示をする。

25) 通路や歩道等にて、器材で一般の方々の通行を妨げないよう注意すること。

26) 車は指定の駐車場に停めること。器材の積み下ろしの際、一般の方の妨げにならないよう充分注意すること。

27) 競技日当日の朝までに、大会本部にて以下の確認を受けること。

- ドライバー競技者（全員）：小型船舶操縦免許証を提示すること（コピー不可）
- IRB 艇を持ち込むチーム：IRB 艇に対して加入している保険証書を提示すること（コピー可）

28) 小型船舶運航時の法令厳守として、海技免状の携行、ライフジャケットの着用、船検証を提示できる状態にしておくこと。

4. IRB 競技分科会より

5. アスリート委員会より

6. 競技安全委員会より

7. 事務局からの確認事項

- 1) 貴重品の各自保管
- 2) ゴミの処分（各チームにて持ち帰ること）
- 3) 写真撮影及び SNS サイトへの投稿について
- 4) メディア及び報道撮影について
 - ① オフィシャルカメラマン及び JLA 広報室による撮影
 - ② ドローンによる空撮
 - ③ インタビューについて
 - ④ その他メディアについて
- 5) 「LINE オープンチャット」の運用について

オープンチャット「JLA_2026年度_競技会オープンチャット」
https://line.me/ti/g2/p5bbZesia3ejwX1LkERWtLMiQgwPfqK1wZnK0g?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default



公開コード：「
」 ※代表者会議にて直接伝達します。

8. その他の注意事項

- 1) 基本的な感染対策の継続を推奨いたします。
- 2) 体調が優れない場合は、我慢せずに早めに報告をすること！
- 3) 会場利用について

競技会会場となる海岸を占有させていただくことを認識し、以下のことについて十分注意してください。

① 道路の利用

- 通路では立ち止まったり広がったりしないようにしてください。
- 通路での器材運搬には十分注意してください。

② その他

- ゴミは拾って帰りましょう。
- 違法駐車は禁止です。

9. 質疑応答

(以 上)